



# ジェンダーで見る 新自由主義・政策・労働 社会的再生産はいかに行われるのか？

## NEOLIBERALISM, POLICY, AND LABOR FROM A GENDER PERSPECTIVE

### HOW DO WE PERFORM SOCIAL REPRODUCTION?

2008年のグローバル金融危機は、瞬く間に実体経済と人々の暮らしを直撃し、格差の拡大や、雇用の不安定化、若年層の失業、こどもの貧困などの懸念される事態を顕在化させました。危機への対応としての金融緩和と成長戦略重視のなかで、家庭責任とケア負担への根本的な対処が見いだせたとはいえないのが現状です。私たちはどこに向かおうとしているのか。責任ある応答を行ない、人々が生き暮らし、共に繋がる生活を再生産していくために、ジェンダーの視点を通して、知と実践のためのシンポジウムを開催します。

**総合司会**：足立真理子 (お茶の水女子大学 教授)    **司会**：斎藤悦子 (お茶の水女子大学 准教授)

**開会挨拶**：室伏きみ子 (お茶の水女子大学長)  
Opening Remark: Kimiko Murofushi, President, Ochanomizu University

#### Speaker

**Susan Himmelweit** (Emeritus Professor, Open University)  
*The Crisis and Changing Norms of Social Reproduction under Neo-liberalism*  
新自由主義下における危機と社会的再生産の基準の変化

**上野 千鶴子** (立命館大学 特別招聘教授) ネオリベラリズムとジェンダー再編成  
**Chizuko Ueno** (Special Guest Professor, Ritsumeikan University)  
*Neoliberalism and Gender Reconfiguration*

**定松 文** (恵泉女学園大学 教授) 仕事創出と女性間格差  
**Aya Sadamatsu** (Professor, Keisen University)  
*Creating Jobs and widening gap among women*

#### Commentator

**足立 真理子** (お茶の水女子大学 教授)  
**Mariko Adachi** (Professor, Ochanomizu University)

**伊田 久美子** (大阪府立大学 教授)  
**Kumiko Ida** (Professor, Osaka Prefecture University)

**閉会の辞**：石井クンツ昌子 (お茶の水女子大学ジェンダー研究所長)  
Closing Remark: Masako Ishii-Kuntz, Director of IGS, Ochanomizu University

#### 要事前申込・参加費無料

お茶の水女子大学ジェンダー研究所のウェブサイトの申込フォームからお申し込みください。

No admission fee / prior registration required  
Registration Form: <http://www.igs.ocha.ac.jp/>

\*同時通訳あり  
Japanese-English translation available

日時：12月1日(火) 18:10~20:50

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟 2号館 201号室  
Room 102, Inter-Faculty Building 2, Ochanomizu University



主催：お茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成研究機構・ジェンダー研究所  
共催：お茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成研究機構・グローバルリーダーシップ研究所  
後援：大阪府立大学女性学研究センター